看護師基礎講座「消化器疾患」（冨永講師）確認テスト・正解

問題

以下の問いが正しければ○、誤りであれば×を(　)に記入してください。

(×)１）重症心身障害児・者( 以下重症児・者 )は、毎日のバイタルサインを測定していれ

　　　　ば症状を訴えられなくても消化器疾患の多くは早い時期に見つけることができる。

(×)２）重症児・者の大腸検査では、バリウムを使用しない大腸鏡は頻回な体位変換もしな

いため比較的容易にできる。

(○)３）下部食道括約筋圧は、「下部食道括約筋の収縮」と「横隔膜筋脚による圧迫」によ

り生じる圧である。

(○)４）胃食道逆流症では、コーヒー様胃残などの消化器症状ほかに喘鳴(気管れん縮)や反

復性肺炎など呼吸器症状も認める。

(○)５）循環不全はイレウスの予後にかかわる重大な因子であり、したがって尿量が維持で

きているかどうかの観察は重要である。

(○)６）重症児・者に麻痺性イレウスが合併しやすいのは、広範な脳障害による自律神経障

害と抗けいれん剤による腸蠕動運動の低下が考えられる。

(×)７）脳の広範な障害を生じている重症児・者でも、胃結腸反射は十分生じており便秘の

原因とは考えにくい。

(○)８）腸内細菌叢は抗生物質の内服などで乱れ、善玉菌といわれる乳酸菌や乳酸桿菌など

が減少すると大腸のエネルギー源である酪酸の産生低下を生じ、これが便秘の一因となりうる。

(×)９）早期ダンピング症候群は胃切除後の患者だけでなく、重症児・者でよく行われる

十二指腸チューブからの経管栄養でも認め、栄養剤がすぐに吸収されることによ

る高血糖が原因である。

(×)10）胃瘻造設患者のケアーでは、胃瘻チューブと腹壁との間に隙間を作らないようにY

ガーゼなどを入れるべきである。